

# こ と やま 五斗山遺跡

県単交通安全(一種)事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書




2009年

長野県伊那建設事務所  
上伊那郡箕輪町教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、平成21年度に実施した県単交通安全(一種)事業に伴う、五斗山遺跡の緊急発掘調査報告書である。
- 2 長野県伊那建設事務所より委託を受けて、箕輪町教育委員会が発掘調査及び本書作成に係る整理作業等の業務を実施した。
- 4 本書の執筆及び編集は、赤松 茂、根橋とし子が行った。
- 5 出土遺物のほか、実測図・写真類及び本報告書作成に係る図版類は、すべて箕輪町教育委員会が保管している。

# 凡 例

- 1 神図の縮尺は、各図表題の右側及び下部(スケールを有するものも含む)に表示した。
- 2 遺構断面図におけるスクリーン表示は、以下のとおりである。  
 ……観断面
- 3 遺構実測図及び一覧表内の土層と土器観察表の色調は、『新版 標準土色帖』を用いて記してある。

# 目 次

## 例言 凡例 目次

第1章 発掘調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査概要と体制	2
3 遺跡の環境	2
4 土層堆積状況	3
第2章 遺構と遺物	4
1 掘立柱建物址	4
2 土坑	6
3 ビット	6
4 遺構外出土遺物	7
第3章 総括	8

報告書抄録

# 第1章 発掘調査の概要

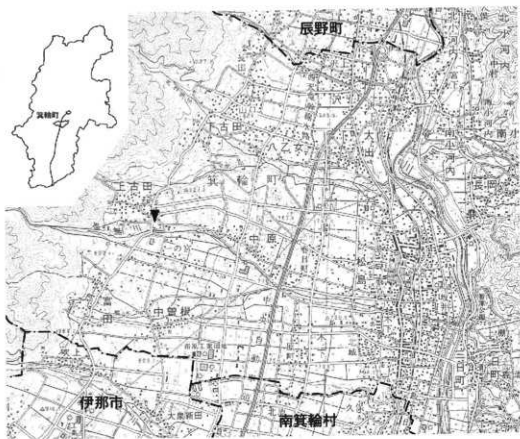
## 1. 調査の経過

五斗山遺跡は、箕輪町の西部上古田区に所在し、帯無川左岸段丘上に立地している。遺跡は、西部山麓の裾から河川の縁に沿って帯状に分布しており、これまで民間施設建設に先立つ2度の試掘調査の結果、縄文時代中期初頭と平安時代の集落遺跡であることがわかっている。

今回、長野県伊那建設事務所が340㎡を用地とする同区内を縦断する県道与地一辰野線の路線の拡幅及び歩道設置工事を実施することになった。平成21年1月、町教育委員会はこの開発計画を受け、当該地が上記埋蔵文化財の包蔵地内にあるため、両者間で係る文化財の保護協議を行った。

同年3月29日から4月3日まで、町教育委員会が文化財の有無と内容確認のため試掘調査を実施した。その結果、記録保存が必要な遺構及び遺物の出土があったため、改めて両者間で協議を行ない、記録保存を目的とした緊急発掘調査を実施することとなった。

同年7月1日、同事務所所長と町教育委員会教育長との間で埋蔵文化財発掘調査委託契約が結ばれ、同日より業務を開始し、9月18日の完了を持って本書の刊行に至った。



第1図 調査地位位置図 (1:50,000)

## 2. 調査概要と体制

1 遺跡名	五斗山遺跡
2 所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪6、038番地ほか2筆
3 調査面積	75㎡
4 事業期間	発掘調査 平成21年7月1日～7月5日 整理作業 平成21年7月6日～21年9月18日
5 調査主体者	箕輪町教育委員会
事務局	生涯学習課文化財係
調査担当者	赤松 茂
調査員	根橋とし子
調査団員	井沢はずき、大申久子、春日誠子、松崎伸子(50音順)

## 3. 遺跡の環境

箕輪町内には、旧石器時代から近世に及ぶ遺跡が分布しており、現在包蔵地182箇所、古墳27基、城跡13箇所が確認されている。本遺跡を含む天竜川西部地域の遺跡分布は、集落遺跡を中心に段丘突端部、中小河川の両岸、西部山麓の裾部に立地し、いずれも水源地に近接している。

西部山麓裾部に位置する上古田区には、五斗山遺跡を初め帯無川左岸の段丘上には南原遺跡、幸道遺跡が分布する。これらの遺跡では、縄文時代中期を主体とする遺物が数多く出土しており、この時期に展開した居住域が広がっていたものと推察される。しかし、これまでこの一帯での調査はあまり行なわれておらず、遺物の多くは耕作中に偶然出土した資料であり、遺跡の性格は不明な点が多い。



第2図 周辺遺跡分布図

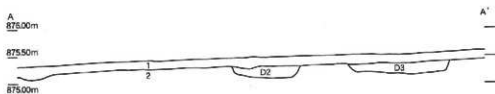
#### 4. 土層堆積状況

調査区の土層堆積状況は、基本的に土壌化した耕作土（1層）、ローム（テフラ）層（2層）の2層に分けられた。各遺構は、第2層確認段階で検出している。しかし、調査区の南部に向かうほど第1層の堆積は薄くなる傾向が見られ、また第2層も礫が含まれる割合も高くなる。恐らく、かつて耕作地として造成された段階で第2層まで削平されてしまったものと推察され、検出した各遺構もその段階で上部が削られてしまい、かろうじてその下部が残存したものである。

各層の詳細は次のとおりである。

第1層：7.5YR 3/3（暗褐色）耕作土、小礫を10%含む。締り弱、粘性弱。

第2層：10YR 5/6（黄褐色）遺構確認層。ローム層、小礫を10%含む。締り強、粘性強。



第3図 土層図



遺構検出状況南部（南方より）



遺構検出状況北部（南方より）

## 第2章 遺構と遺物

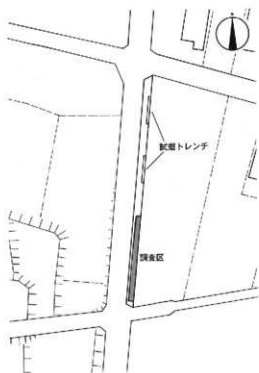
### 1 掘立柱建物址（第5図）

掘立柱建物址は、2軒の検出があった。他に、本道構を形成する可能性のあるピットが17基検出しているが、配列が確認できないため本道構とは大別した。

1号掘立柱建物址（H1）は、調査区北部で検出し、2～2.1m間隔で直線状に3穴で構成する建物址の一行を確認した。柱穴列は、 $N-6^{\circ}-E$ 方向を示し、柱根及び時期を特定する遺物の出土はなかった。

2号掘立柱建物址（H2）は、調査区南部で検出し、1×2間の6穴で構成されると思われるが、5穴の検出にとどまった。主軸は $N-63^{\circ}-E$ 方向を示し、主軸列は1.2m間隔で直行列は2.0m間隔であった。柱根及び遺物の出土はなかった。

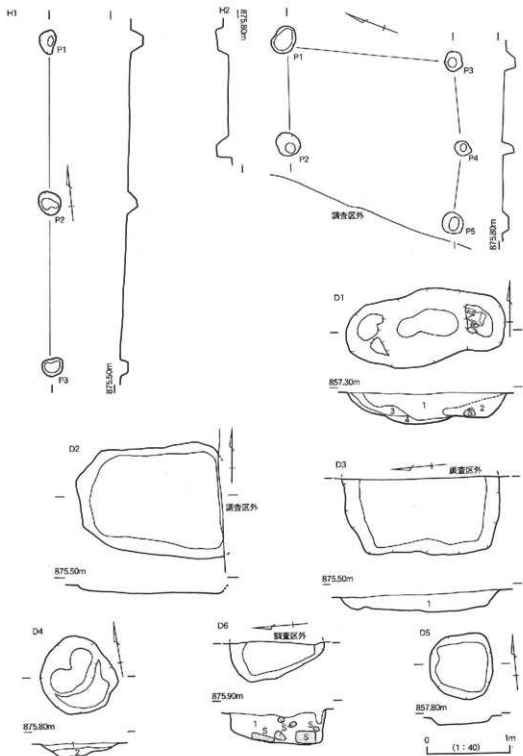
なお、各ピットの規模・形状等の特徴については、第1表を参照されたい。



第4図 調査区配置図（1：1,000）



第5図 全体図（1：100）



第6图 掘立柱建物址・土坑实测图

## 2 土坑 (第6図)

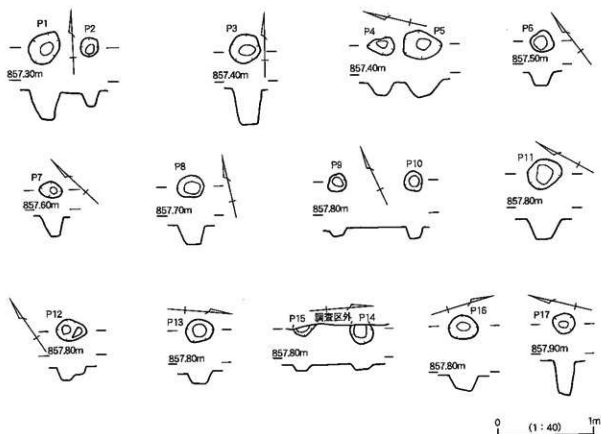
住居址等の付属施設に当てはまらない単独の小穴を土坑として扱い、6基検出している。平面形での種別は、円形が2基 (D 4、D 5)、楕円形が2基 (D 1、D 6)、方形ないし長方形が2基 (D 2、D 3) である。また、各形状により掘り込みの深さや底面の作出に違いが見られる。遺構の性格は不明である。個々の土坑の規模・形状等の特徴については、第3表を参照されたい。

遺物 (第8図) は、2号土坑 (D 2) より縄文時代中期中葉井戸尻期所産の楕円文 (3) が、3号土坑 (D 3) から同タイプの楕円文 (1) と平行沈線文 (2) の土器片が出土している。他の土坑からは遺物は出土していない。

## 3 ビット (第7図)

土坑より小規模の小穴で、配列を有さない時期及び性格の不明確なものをビットとして類別した。17基検出しているが、遺構の性格は不明である。また、遺物の出土は7号ビット (P 7) から縄文土器片1点出土している。

規模・形状等の特徴については、第3表を参照されたい。

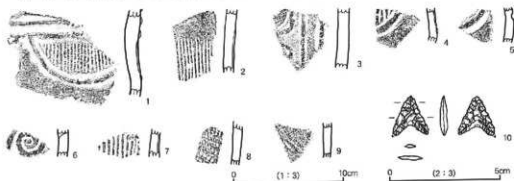


第7図 ビット実測図



#### 4 遺構外出土遺物 (第8図)

遺構確認作業時において出土した遺物について紹介する。土器は、いずれも土器片で、純土器26点(4~6)が出土している。石器は、黒曜石製の凹基無茎石鏃1点(10)が出土している。



第8図 出土土器拓影図・石器実測図

第1表 掘立柱建物址ピット一覧表

遺構名	No.	規模 (cm)			平面形	断面形	覆 土		出土遺物	
		長	短	深			粘性	締り		
1号掘立柱 (H1)	1	30	20	16	楕円形	台形	1層 7.5YR3/1 (黒褐色) シルト及び粘土質シルト層	強	中	
	2	29	28	13	円形	台形				
	3	25	22	12	円形	台形				
2号掘立柱 (H2)	1	35	27	20	楕円形	台形	1層 7.5YR2/2 (黒褐色) シルト及び粘土質シルト層	中	中	
	2	30	26	20	円形	不整形				
	3	24	22	13	円形	台形				
	4	23	17	16	円形	台形				
	5	28	26	8	円形	台形				

第2表 土坑一覧表

No.	規模 (cm)			平面形	断面形	覆 土		出土遺物	
	長	短	深			粘性	締り		
1	195	94	39	楕円形	不整形	1層 7.5YR2/2(黒褐色) シルト層 小礫3%含む 2層 7.5YR4/3(褐色) シルト層 ローム粒子5%・ 小礫を3%含む 3層 7.5YR3/2(黒褐色) シルト層 小礫3%含む 4層 7.5YR3/4(暗褐色) シルト層 小礫3%含む	中 中 中 中	中 中 中 中	
2	(174)	142	12	長方形	台形	1層 7.5YR3/1 (黒褐色) シルト層 ローム粒子 10%・小礫10%含む	中	中	第8図3
3	190	(95)	11	方形	台形	1層 7.5YR3/1 (黒褐色) シルト層 ローム粒子5%・ 小礫10%・炭化物5%含む	中	中	第8図 1, 2
4	95	85	18	円形	不整形	1層 7.5YR2/2(黒褐色) シルト層 ローム粒3%含む 2層 7.5YR4/4(褐色) シルト層 ローム粒子50%含む	強	中	中
5	83	78	10	円形	台形	1層 7.5YR2/1(黒褐色) シルト層	中	中	
6	113	(50)	42	長方形	長方形	1層 7.5YR3/1 (オリーブ黒褐色) シルト層 ロームブロック10%・円礫を20%含む	中	中	

第3表 ビット一覧表

No.	規模 (cm)			平面形	断面形	覆 土		出土遺物
	長	短	深			粘性	締り	
1	38	30	30	楕円形	台形	1層 7.5YR 3/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト小淵	強 強
2	20	19	16	円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層 小礫5%含む	中 中
3	32	32	37	円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	中 中
4	29	21	15	不整形	台形	1層 7.5YR 2/3 (極暗褐色)	シルト及び粘土質シルト層	中 中
5	40	30	18	楕円形	不整形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層 小礫20%含む	強 中
6	24	22	14	円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
7	24	18	22	楕円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
8	27	24	21	円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
9	20	20	9	円形	台形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層 ローム粒子10%含む	中 中
10	22	18	14	不整形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	中 中
11	37	30	22	円形	台形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層 ローム粒子5%含む	弱 中
12	32	24	13	円形	台形			
13	29	25	14	円形	台形	1層 7.5YR 2/2 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	中 中 第8図9
14	24	-	8	円形	不整形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
15	20	-	7	円形	不整形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
16	30	26	16	楕円形	台形	1層 7.5YR 3/1 (黒褐色)	シルト及び粘土質シルト層	弱 中
17	23	22	35	円形	台形			

### 第3章 総括

今回実施した発掘調査は、遺跡の西部限界域にあたり、隣接する幸道遺跡及び南原遺跡との関連性を伺わせる結果が得られた。成果としては、縄文時代中期中葉期の遺跡と遺物の出土があった。幸道遺跡では、今回と同時期の完形土器が耕作地より出土しており、集落域が今回の調査箇所まで及んでいることが想定される。遺跡の東部では、過去に本時期より古い中期初頭の集落を確認しているが、今回この種の遺物は出土しておらず、帯無川左岸の段丘縁に帯状に連なる遺跡範囲の中で、時間差を持って人の移動があり集落形成を繰り返したものと推察できる。残念ながら、わずか75㎡の狭い範囲での調査ということもあり、集落の範囲や性格については解明できない課題が残ったが、今後近隣の開発がある場合は、遺跡の保護に十分注意が必要である。

最後になりましたが、伊那建設事務所を始め地元上古田区並びに近隣住民の皆様、本書の刊行を待ちまして厚く御礼申し上げます。



報告書抄録

ふりがな	ごとやまいせき							
書名	五斗山遺跡							
副書名	県単交通安全(一種)事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
著者名	赤松 茂 根橋 とし子							
編集機関	箕輪町教育委員会							
所在地	〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10,291番地 (代) Tel0265-79-3111							
発行年月日	2009年9月18日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
五斗山遺跡	長野県上伊那郡 箕輪町大字中箕輪 6,038番地他2	20383	45	35° 55' 20"	137° 56' 50"	2009.7.1 ～ 2009.9.18	75㎡	県単交通安全 (一種)事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
五斗山遺跡	集落址	縄文時代 時期不明	掘立柱建物址 七坑 ピット	2軒 6基 17基	縄文土器、石器		縄文中期中葉の遺物を伴う土坑群を確認。	
要約	過去2次に渡る調査では、縄文時代中期初頭の集落を確認していた。しかし今回の調査箇所では、同時代中期中葉期の遺構と遺物の出土を確認することができた。							

五斗山遺跡

県単交通安全(一種)事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書

平成21年9月発行

編集・発行 長野県伊那建設事務所  
箕輪町教育委員会  
印刷 龍共印刷株式会社